

# 2019年度 事業報告書

学校法人名 学校法人 国際文化アカデミー

学校法人所在地 東京都豊島区巣鴨3丁目2番12号

# 2019 年度 事業報告

学校法人 国際文化アカデミー

## 1. 総 括

今年度につきましては、本校が「JTB グループを中心に広く旅行・観光産業界で活躍しうる人材の育成と安定的輩出」を使命とする「高品質の専門学校」であることを再認識のうえ、多様化するツーリズム産業界における今後の求人計画や新たな求人像を探りつつ、次年度以降の経営安定化を見据えた諸準備を整える年と位置付けました。

重要経営課題としては、① グローバル人材の育成と関連業界への安定的輩出、② JTB グループ外就職先の拡充と関係強化、③ 新入学生の安定的確保、④ 組織運営体制・要員体制の再整備、等に焦点をあて、時代や世相、業界動向といった周辺環境を凝視しながら眼前の課題解決に取り組みました。

教育面に関しては、今年度開設した「ホテル&ブライダル科」における新カリキュラムに沿った円滑な授業運営に注力し、また来年度より国際観光ビジネス科に新設する「グローバル・インバウンドコース」のスタート準備として、カリキュラム編成や教職員体制を万全の形に整えました。そして就職支援に関しては、旅行・宿泊業界における JTB グループ外の就職先を、微増ながらも拡充することができました。

一方、経営状況に関し、今年度は 2020 年度以降の学校運営体制強化に向けた先行投資を目論み、基本金組入前当年度収支差額につきましては 15 百万円支出超過の予算編成といたしました。当初見込を上回る新入生の確保が功を奏し、後述のとおり 1,027 千円の収入超過、当初の目標に対し約 16 百万円の差異が出ました。

そして昨年度における本校校地・校舎の自己所有化により、基本財産は 984 百万円、純資産は 1,784 百万円（いずれも 2020 年 3 月末現在）と、本校の経営規模から推察いたしますと、現時点での財務面における大きな懸念材料はございません。

しかしながら、経営の安定性を持続させるためには、本法人を取り巻く環境変化を見極めつつ学校運営の方向性を適時見直し、これを踏まえた諸施策の推進が必要との観点より、現環境下において顕著である、①入学対象である 18 歳人口の減少、②旅行者購買行動の変化に伴う JTB リテール部門における求人数の減少、③拡大傾向にあるツーリズム産業が求める人材の多様化、等への対処方を具体化することが急務の課題と認識しております。

このため今年度期中「本校が JTB グループの一員としてツーリズム業界に果たす役割」について改めて議論を重ねた結果、従来の『国家資格の取得を通じ、JTB グループの個人旅行販売で生かすための旅行・観光全般の知識と技術を習得した人材を育成し供給する。』役割から、『レジャーや余暇を主とする観光産業の枠だけでなく、人的交流を主軸に捉え、変化・拡大するツーリズム産業で求められる知識や技術を習得した人材を育成し供給する。』役割へと、軌道修正を図る必要があるとの結論に至りました。

このため、2020 年度からの 2 年間ににつきましては、2 年後に創立 40 周年を迎える JTB トラベル&ホテルカレッジの「新たな創造」を目指し、本校自体のリブランディングを強力に推進しながら、本来の事業運営に邁進してまいりたいと存じます。

## 2. 教務・学生指導関連

今年度の教務・学生指導につきましては、今節の企業が求める人材育成に注力すべく、新設「国際ホテル&ブライダル科」の運営を軌道にのせ、かつ来年度開設する「国際観光ビジネス科グローバル・インバウンドコース」の準備期間として、カリキュラムの再編成やトライアルを繰り返し実施いたしました。本校への入学意思を喚起させる一つの要素でもある国家試験・資格試験取得対策授業は年間を通じて内容を充実させ、また後期におきましては、就職を間近に控えた2年生を対象として、ツーリズム産業への従事に必要とされる、幅広い知識習得に向けた新しいカリキュラムを新設し、講義を実施いたしました。

重点課題といたしましては、大きく以下の3点に取り組んでまいりました

- ① 幅広く「今、求められる人材」の育成を意識したカリキュラムの設置
  - ・ 今年度新設した「国際ホテル&ブライダル科」につきましては、順調に授業運営を進め、ホテル業、ブライダル業とも学生の関心度を高めた一年となりました。
  - ・ 2020年度開設の「国際観光ビジネス科グローバル・インバウンド（GI）コース」につきましては、魅力的かつ実践的な授業運営に向けたカリキュラムを編成し、「東京シティガイド検定対策」や「日本の歴史」などインバウンド関連知識習得に必要な授業を、トライアルとして後期に実施しました。
  - ・ その他、ITリテラシー関連では「ホームページ制作演習」も新設しました。
- ② 入学意思を喚起させる大きな要素である、国家試験・資格試験対策の強化
  - ・ 国際ホテル&ブライダル科の学生には、ホテル業界初の国家試験「ホテルマネジメント技能検定」資格取得に向けた対策授業を新設しました。
  - ・ 鉄道、空港、ホテル、等各業界や添乗業務にも必要と考えられる「サービス介助士」資格取得に向けた授業を新設しました。
  - ・ 国際観光ビジネス科の学生が必修としている「旅行業務取扱管理者」資格取得に向けた教育については、例年通り入学直後から集中授業を続け、徹底した指導を続けました。
- ③ 社会人としての基礎能力育成強化
  - ・ 就職内定時期早期化に伴い、既内定者を対象とした授業内容の見直しや、ホスピタリティマインドの醸成を目的として、外部講師を招いた効果的な授業の実施にも努めてまいりました。

具体的な取組内容、成果については以下のとおりです。

### (1) 学生動向について

今年度は新1年生258名を迎え、学生総数466名でスタートしました。期中における退学者は36名、留学による休学者・復学者の出入りを含め、2020年度の新2年生は222名となりました。

学生の在籍者推移は【表1】、また学科別の在籍者推移は【表2】のとおりです。

担任講師に加え、キャリアアドバイザー、就職進路指導担当による学生支援体制の強化を図りましたが、退学率は昨年と同様7.7%となり、来年度は一層の退学率低下を目指します。

【表1】 学生在籍者推移

[単位:人]

	2019年度		2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	
	1年生	2年生					
期首在籍数 (復学者)	466 (12)	258 (3)	208 (9)	456 (6)	503 (8)	526 (5)	532 (13)
退学者	36	31	5	35	43	29	34
期中休学	2	2	0	4	1	0	0
期中復学	0	0	0	0	0	0	1
期末在籍数	428	225	203	417	460	497	499
退学率	7.7%	12.0%	2.4%	7.7%	8.5%	5.5%	6.4%

【表2】 学科別・学生在籍者数推移 [期首]

[単位:人]

	2019年度		2018年度	2017年度	2016年度	2015年度			
	1年生	2年生							
国際観光ビジネス科	294	164	130	280	148	132	309	155	154
訪日科	87	47	40	84	45	39	92	43	49
国際ホテル科(※)	46	25	21	47	23	24	44	27	17
夜間部	39	22	17	45	21	24	58	34	24
期首在籍数	466	258	208	456	237	219	503	259	244

※2019年度1年生は、国際ホテル&amp;ブライダル科

## (2) 旅行業務取扱管理者資格の取得について 【表3】【表4】

今年度の国内旅行業務取扱管理者試験合格者数134名、うち1年生全科目合格者は116名となりました。合格率は75.8%と、目標の70%達成と同時に、全国平均を大きく上回る結果となり、合格率は過去3番目に高い合格率となりました。

合格者の中には、9名の留学生も含まれております。

一方、10月実施予定であった総合旅行業務取扱管理者試験は、台風の影響により東京会場は中止となり、さらに延期となった3月も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。後期は就活対策に加え、国家試験対策も並行して支援を行ってまいりましたが、2020年度に持ち越しとなりました。

【表3】 総合旅行業務取扱管理者資格 試験結果

[単位:人]

区分		2019年度結果				2018年度結果				2017年度結果		
		合格者	増減	合格率	受験者	合格者	増減	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者
全科目	観光科1年					70	13	52.6%	133	57	39.9%	143
	全国結果					495	63	11.0%	4,512	432	8.8%	4,936
他	他1年生					2	▲2	11.1%	18	4	13.3%	30
	2年生他					17	9	32.7%	52	8	13.8%	58
JTC計 (ウチ留学生)						89 (6)	20 (+1)	43.8%	203	69 (5)	29.9%	231

台風19号直撃のため、  
10月13日試験中止、  
3月15日延期も新型コロナウイ  
ルスの影響により中止

【表4】 国内旅行業務取扱管理者資格 試験結果

[単位:人]

区分		2019年度結果				2018年度結果				2017年度結果		
		合格者	増減	合格率	受験者	合格者	増減	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者
全科目	観光科1年	116	6	75.8%	153	110	14	80.9%	136	96	66.7%	144
	全国結果	5,122	▲66	39.1%	13,103	5,188	230	38.3%	13,550	4,958	36.0%	13,772
他	他1年生	10	▲1	55.6%	18	11	▲2	61.1%	18	13	43.3%	30
	2年生	8	6	23.5%	34	2	▲4	4.2%	48	6	13.6%	44
JTC計 (ウチ留学生)		134 (9)	11 (+0)	65.4%	205	123 (9)	8 (+1)	60.9%	202	115 (8)	52.8%	218

(3) その他、各種資格の取得について

旅行業務取扱管理者資格以外にも、学科別又は学科共通で、各種検定試験の受験による資格取得を奨励しており、今年度の合格状況は【表5】のとおりです。

今年度新たに受験した国家資格「ホテルマネジメント技能検定」3級につきましては、受験者14名に対し合格者6名（合格率42.9%）という結果に終わりました。

今後も引き続き学生に目標感をもたせ、企業が必要とする人材が持つべき資格の取得に向けた指導と支援を重ねてまいりたいと存じます。

【表5】各種検定試験 合格者推移

[単位:人]

資 格	2019年度		2018年度		2017年度	
	年度	増減	年度	増減	年度	増減
旅行地理検定国内2級	1	▲5	6	▲4	10	▲3
旅行地理検定海外2級	8	▲5	13	▲1	14	▲2
ビジネス能力検定3級	53	▲1	54	▲7	61	1
パソコン検定2級	18	▲18	36	1	35	6
パソコン検定1級	3	0	3	0	3	▲4
世界遺産検定1級	0	0	0	▲1	1	1
世界遺産検定2級	16	▲20	36	16	20	5
実用英語技能検定2級	7	3	4	1	3	1
秘書検定2級	10	8	2	▲1	3	▲15
秘書検定準1級	0	▲1	1	1	0	▲1
ホテルマネジメント技能検定3級	6	—				
レストランサービス技能検定3級	16	▲2	18	9	9	▲19
ブライダルコーディネーター技能検定	2	0	2	0	2	▲7

(4) 実習・研修プログラムの実施状況について

本校では前述のとおり、教室における講義以外に、基礎的な旅行・観光関連実務の体得を目的とした学外実習や研修を、学科別にカリキュラムに織り込み、効果的な専門能力の養成に努めております。今年度の学科別実習・研修の実施状況につきましては、【表6】のとおりです。

【表6】学科別 実習・研修実施状況

学科	対象	種別	内 容	実施時期	備 考
国際観光 ビジネス科	1年	必修	① 校外学習	11月	成田空港幹旋業務見学
	1年	必修	② 国内研修旅行	2月	沖縄2泊3日
	1年	選抜	③ 海外支店実習	2～3月	EUR・OCE・ASI 各地区【海外派遣生】
	1年	選抜	④ 法人個所実習(新)	2月	JTB法人営業個所6箇所
	2年	必修	⑤ 国内支店実習	夏期	JTBグループ会社 等
	2年	必修	⑥ 海外研修旅行	12月	パリ4泊6日
訪日科	1年	選抜	① 国内研修旅行	9月	草津1泊2日
	1年	必修	② 校外学習	11月	鎌倉・江の島日帰り
	2年	選抜	③ 国内研修旅行	8月	北海道3泊4日
国際ホテル科	1年	必修	① 国内ホテル見学	8月	横浜みなとみらい地区
				11月	ホテルニューオータニ東京
				2月	帝国ホテル・セルリアンタワー東急
	1年	必修	② 国内ホテル実習	夏期 冬期	旅館・ホテル(19施設)
2年	必修	③ 海外研修旅行	12月	台湾3泊4日	
夜間部	1・2年	必修	デュアル実習	年間	JTBグループ会社 等

今年度初めての試みといたしまして、国際観光ビジネス科1年生のうち学内で選抜した渉外営業職を志す学生6名が、JTB法人営業個所にて実習を行い、各個所にて渉外営業業務を体験しました。期間は当初3週間を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止強化期間と重なり、実質8日間で終了いたしました。就職活動にも直結する非常に意義深い実習となりました。

国際観光ビジネス科2年生の夏期実習につきましては、例年どおり、(株)JTBをはじめとするグループ各社等のご協力により、店舗を中心とした営業現場にて有意義でかつ貴重な実務体験をすることができました。ただ2020年度に計画しておりました東京オリンピック・パラリンピック関連業務の実習は残念ながら中止となりました。

また学生達にとって、学習意欲の大きな動機づけとなっている「海外派遣研修」につきましては、今年度も学内選抜により、観光科1年生20名をJTBグループ海外13支店に派遣しました。なお、ホテル&ブライダル科の1年生につきましては、宿泊業界における就職活動時期の早期化に伴い、実習時期を夏休み期間中(7~8月頃)に変更して実施する予定です。本校独自の魅力であり、入学意思を喚起させる要素となっているこの海外派遣研修制度につきましては今後も継続し、来年度はグローバル・インバウンドコースの学生も含めて実りある実習としてまいりたいと存じます。

#### (5) 特別講師による授業の実施状況について

1年生を対象とした「クローズアップ(業界・企業)」につきましては、職業意識の醸成を目的として観光関連各企業の協力を仰ぎ、また内定後の2年生を対象とした「クローズアップ(観光産業)」につきましては、変化するツーリズム産業における旬のテーマや業界動向の理解を目的として、各企業に加え関係諸機関の方々にもご協力いただき、【表7】のとおり実施いたしました。

【表7】クローズアップ講師派遣協力機関

科目名	対象	講師派遣協力機関
クローズアップ (業界・企業)	国際観光 ビジネス科 1年生	①JTB ②JTBビジネスネットワーク ③J&Jヒューマンソリューションズ ④トラベルプラザインターナショナル ⑤JTBビジネストラベルソリューションズ ⑥JTBグローバルマーケティング & トラベル ⑦JTBグローバルマーチャンダイジング & サポート ⑧ホテルメトロポリタン ⑨首都圏新都市交通(つくばエクスプレス) ⑩叙々苑 ⑪ひらまつ ⑫ANAテレマート ⑬小田急トラベル ⑭羽田空港サービスグループ
クローズアップ (観光産業)	国際観光 ビジネス科 2年生	①JTB海外仕入商品事業部 航空仕入部 ②JTB海外仕入商品事業部(世界遺産検定マイスター) ③JTB総合研究所(アドベンチャーツーリズム、国際観光の現状) ④JTB Tokyo2020推進室 ⑤日本健康開発財団 ⑥日本政府観光局(JNTO) ⑦ジャパンショッピングツーリズム協会 ⑧日本エコツーリズム協会 ⑨アニメツーリズム協会 ⑩ロングステイ財団 ⑪旅行業公正取引協議会 ⑫地域活性化センター ⑬土湯温泉 山水荘

また「ホスピタリティ講座」につきましては、業界に携わる人材に最も重要となるホスピタリティについて、【表8】のとおり、現場の最前線で活躍しているプロフェッショナルな方々や卒業生たちから、経験談を踏まえてホスピタリティの本質を語っていただき、ホスピタリティを具体的に行動に移せるような機会を設けました。

【表8】ホスピタリティ講座講師派遣協力機関

科目名	対象	講師派遣協力機関	
ホスピタリティ講座	国際観光ビジネス科 2年生	JTB代表取締役会長 JTBお客様相談室 JTBデータサービス ジェイアイ傷害火災保険 STH Japan	グランドニッコー東京台場 ハイアットリージェンシー京都 京王プラザホテル ホテルショコラ函館 マンダリンオリエンタル
	国際ホテル科 1・2年生	JCBトラベル ホテル一井 JRホテルグループ アロマ環境協会認定インストラクター	商船三井 稲取温泉 石花海 ベルトラ

#### (6) イベントの実施について

クラス仲間同士、クラスの垣根を超えた学生同士、さらには教職員との絆を深め、授業以外でのチームワークとコミュニケーション向上を目的とし、学生生活ならではの全員参加型の各種イベントを、今年度も次のとおり開催いたしました。

- ◆ 学生交歓会（5月）◆ 体育祭（10月）◆ 鴨祭（11月）
- ◆ 英語スピーチコンテスト（11月）◆ 日本語スピーチコンテスト（訪日科：1月）

#### (7) 地域貢献活動・国際交流活動について

今年度も地域貢献活動の一環として、選択授業の中に「巣鴨学生ボランティア・ガイド」の実践を組み入れました。今年度は16名の学生が参加し、日本語のみならず、外国人観光客に対しては英語や中国語を駆使しながら、延べ98名のお客様に対して地蔵通り商店街のガイド活動を行いました。

2020年度につきましては、新設「グローバル・インバウンドコース」のカリキュラムにも組み込み、活動をさらに活発化させてまいります。

国際交流活動につきましては、①香港の専門学校（GMT紹介）②シンガポールの高等専門学校（東京観光財団紹介）の訪問を受け入れ、学生同士の直接の交流機会を設けました。本校の学生にとっては、短い時間ではあったものの授業外での貴重な体験となり、異文化交流の大切さを学ぶことができました。

今後も引き続き JTC ブランドの向上を目指し、地域貢献活動や国際交流活動を継続してまいりたいと存じます。

#### (8) その他

東洋大学国際観光学部とは引き続き緊密な連携を保っており、今年も2年生3名が同学の編入試験にチャレンジし合格いたしました。

この編入制度につきましては、四年制大学進学を希望する本校生の学習意欲昂揚に繋がっており、一方で、各高校進路指導担当者や保護者の関心を強く引くものであることから、引き続き同学との関係強化を図り、来年度以降も編入実績を積み重ねていきたいと存じます。

### 3. 就職・進路指導関連

2020年3月卒業予定者のうち、日本人学生の就職状況につきましては、就職希望者138名全員が採用内定となり、6年連続で就職内定率100%を達成いたしました。各社の旺盛な求人意欲に支えられながら、学生の職業意識の醸成、各々が持つ潜在能力の開花、「学習」に対する習慣づけ等に向けた、全教職員を挙げての取組が成果につながりました。

また留学生につきましては、継続設置した「就活日本語特別講座」をはじめ、面接訓練機会の増強、優良就職先の拡充などきめ細かな就職指導を行った結果、就職希望者42名全員が採用内定となりました。

日本人学生、留学生を併せた180名の就職内定先は、10ページ【表10】のとおりで、内訳は次のとおりであり、98.3%の学生が観光関連企業に内定いたしました。

◇ JTBグループ	63名 (35.0%)
◇ その他旅行会社 (含む総合提携店)	33名 (18.3%)
◇ 運輸・空港関係	22名 (12.2%)
◇ 宿泊・レストラン関係	59名 (32.8%)
◇ その他企業	3名 (1.7%)

また、旅行関連会社への内定者96名のうち73%にあたる70名が、JTBグループ会社、及びJTB総合提携店・パートナー店に内定しております。

総合提携店に対しましては、JTB提携販売事業部との連携を強化し、過去から総合提携店オーナー会議(千葉、埼玉)に参加してまいりましたが、本校認知度の更なる向上に向け、今年度は東北地区の会議にも参加させていただきました。地域に蔓延する人手不足解消への一助となるべく、地元志向型の学生把握と就職進路指導に努めてまいりたいと存じます。

なお今年度、本校で実施した企業説明会にて、講師として説明のご協力をいただいた企業様は、旅行会社、宿泊施設が中心に【表9】のとおりでございます。

その他、企業研究を兼ねた授業にて講義をお願いした企業様もございます。

【表9】企業説明会 実施状況

講師派遣協力機関	
JTB	トラベルプラザインターナショナル
JTBガイアレック	JTBビジネスネットワーク
JTBメディアリテリング	JTBビジネストラベルソリューションズ
JCBトラベル	JTBグローバルマーケティング&トラベル
IACEトラベル	東京地下鉄
JR東海	ホテルニューオータニ東京
帝国ホテル	プリンスホテル
ホテルオークラ東京	セルリアンタワー東急ホテル
京王プラザホテル	ホテルザ・マンハッタン
日本ホテル	ハレクラニ沖縄
共立メンテナンス	ロイヤルパークホテル
JTB協定旅館ホテル連盟(19施設)	
※19施設中9施設が今年度新規実施施設	

【表10】2019年度卒業生(第37期生) 就職活動状況及び内定先一覧

	総数	就職希望者数	内定者数	未内定者	内定率	前年就職者数
日本人学生	150人	138人	138人	0人	100.0%	146人
留学生	53人	42人	42人	0人	100.0%	46人
計	203人	180人	180人	0人	100.0%	192人

欄外★印は  
留学生採用企業

●JTBグループ企業

構成比 35.0% ← 31.3%

企業名	人数	増減	36期
1 JTB	22	±0	22
2 JTBガイアレック	3	+1	2
3 * トラベルプラザインターナショナル	4	±0	4
4 * JTBグローバルマーケティング&トラベル	1	±0	1
5 JTBビジネスホテルソリューションズ	8	+3	5
6 JTBグローバルマーケティング&サポート	3	+1	2
7 * JTBビジネスネットワーク	4	±0	4
8 JTBメディアリテリング	2	+2	0
9 JTBグランドツアー&サービス	2	+2	0
10 JCBトラベル	5	+3	2
11 * J&Jヒューマンソリューションズ	8	±0	8
12 * JTB香港	1	+1	0
13 その他JTBグループ会社	0	▲10	10
計	63	+3	60

●空港サービス、警備関係

構成比 7.2% ← 7.8%

企業名	人数	増減	36期
1 JALグランドサービス	4	+2	2
2 * キャスト	2	+2	0
3 羽田空港サービス	2	±0	2
4 ジェイエスエス	1	+1	0
5 JALスカイエアポート沖縄	1	+1	0
6 ANAテレマート	1	±0	1
7 羽田旅客サービス	1	▲1	2
8 * 羽田エアポートエンタープライズ	1	▲3	4
9 その他	0	▲8	8
計	13	▲2	15

●その他旅行会社

構成比 14.4% ← 16.1%

企業名	人数	増減	36期
1 * 小田急トラベル	8	±0	8
2 * KIZUNAトラベル	2	+2	0
3 * 菱和ダイヤモンド航空サービス	2	+2	0
4 びゅうトラベルサービス	2	±0	2
5 * 友林	2	+2	0
6 高松商運	1	+1	0
7 * ブルーチップグループ	1	+1	0
8 JR東海ツアーズ	1	+1	0
9 近畿日本ツーリスト首都圏	1	+1	0
10 京成トラベルサービス	1	+1	0
11 * エクセレント	1	+1	0
12 * RCC旅行	1	+1	0
13 HIS	1	±0	1
14 * ペガサストラベルジャパン	1	±0	1
15 日旅サービス	1	▲3	4
16 その他	0	▲15	15
計	26	▲5	31

●JTB総合提携店・パートナー店

構成比 3.9% ← 3.1%

企業名	人数	増減	36期
1 トラベルネット	2	+2	0
2 浦安旅行サロン	2	+1	1
3 セントラルツーリスト	1	+1	0
4 リンツツーリスト	1	▲1	2
5 ツーリストアイチ	1	+1	0
6 その他	0	▲3	3
計	7	+1	6

観4名、夜3名

●運輸関係

構成比 5.0% ← 2.1%

企業名	人数	増減	36期
1 東京地下鉄	4	+2	2
2 JR東海バスセンターズ	3	+3	0
3 首都圏新都市鉄道	1	+1	0
4 会津乗合自動車	1	+1	0
5 その他	0	▲2	2
計	9	+5	4

★印は、今年度新規就職先

●ホテル・レストラン関係

構成比 32.8% ← 35.9%

施設名(企業名)	人数	増減	36期
1 プリンスホテル	7	▲2	9
2 * ワシントンホテル(新宿)	4	±0	4
3 日本ホテル	4	▲1	5
4 * 帝国ホテル	2	+2	0
5 * 渋谷エクセルホテル東急	2	+2	0
6 * 中沢ウエルツ	2	+2	0
7 セリアンタワー東急ホテル	2	+1	1
8 * ハレクラニ沖縄	2	±0	2
9 * 東急ホテルズ	2	▲1	3
10 庭のホテル	1	+1	0
11 PICARIZO	1	+1	0
12 京王プレッソイン	1	+1	0
13 強羅花壇	1	+1	0
14 * Relax Resort Hotel(熱海)	1	+1	0
15 グランヴィア京都	1	+1	0
16 横浜ベイホテル東急	1	+1	0
17 東武ホテルマネジメント	1	+1	0
18 サンルートプラザ東京	1	+1	0
19 横浜ロイヤルパークホテル	1	+1	0
20 * ホテルニューアカオ	1	+1	0
21 富士屋ホテル	1	+1	0
22 ノバレーゼ	1	+1	0
23 目黒雅叙園	1	+1	0
24 叙々苑	1	+1	0
25 ひらまつ	1	+1	0
26 * ホテル櫻井	1	+1	0
27 * ひだホテルプラザ	1	+1	0
28 シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル	1	±0	1
29 森ビルホスピタリティコーポレーション	1	±0	1
30 * グランドニッコー東京 台場	1	±0	1
31 ヒルトン東京	1	±0	1
32 ホテルニューオータニ東京	1	±0	1
33 強羅花扇	1	±0	1
34 はいむるぶし	1	±0	1
35 * 喜久多(稲取)	1	±0	1
36 * 京急イーエックスイン	1	±0	1
37 晴海屋	1	±0	1
38 小田急リゾーツ	1	▲1	2
39 共立メンテナンス	1	▲1	2
40 * KPG	1	▲1	2
41 赤坂エクセルホテル東急	1	▲2	3
42 その他	0	▲26	26
計	59	▲10	69

●その他

構成比 1.7% ← 3.6%

企業名	人数	増減	36期
1 SMC	1	+1	0
2 そごう西武	1	+1	0
3 スタンス	1	+1	0
4 その他	0	▲7	7
一般企業就職者計	3	▲4	7

第37期生 就職内定者計

180名

#### 4. 学生募集関連

今年度の学生募集活動につきましては、観光関連産業への就職意思を持つ日本人学生の安定的確保に向け、国際観光ビジネス科に新設する「グローバル・インバウンドコース」及び、今年度開設した「国際ホテル&ブライダル科」に力点を置き、創意工夫をこらした積極的な広報宣伝や営業活動に取り組んでまいりました。

また留学生に関しては、優秀な留学生の入学実績が多い日本語学校を重点的に訪問し、日本語能力が高く、グローバル人材としての将来性が期待できる学生の確保に努めてまいりました。

これに加え、語学力に秀でた人材の囲い込みを目的として、日本人・留学生ともに、保有する語学検定資格に応じた新たな奨学金制度を設けました。

この結果、2020年度の入学予定者は【表11】のとおり 224名（前年比 87.9%）となり、2年振りの定員割れとなりました。うち日本人学生は175名（前年比 87.9%、24名減）、留学生は49名（前年比 87.5%、7名減）となりました。

【表11】入学者数の推移

入学年度	2020 年度見込	2019 年度	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度	2014 年度	2013 年度
観光科 (ウチコース) (ウチ留学生)	139 (29) (1)	163 - (6)	148 - (11)	155 - (15)	162 - (17)	169 - (7)	180 - (4)	165 - (9)
ホテル科 (ウチ留学生)	27 (5)	25 (3)	23 (6)	27 (5)	23 (3)	44 (5)	34 (3)	30 (6)
訪日科 (ウチ留学生)	43 (43)	47 (47)	45 (45)	43 (43)	52 (52)	43 (43)	40 (40)	30 (30)
夜間部 (ウチ留学生)	15 (0)	20 (0)	20 (0)	34 (0)	28 (0)	36 (0)	22 (0)	26 (0)
合計 (ウチ留学生)	224 (49)	255 (56)	236 (62)	259 (63)	265 (72)	292 (55)	276 (47)	251 (45)
前年比	87.8%	108.1%	91.1%	97.7%	90.8%	105.8%	110.0%	87.5%
日本人学生	175	199	174	196	193	237	229	206
前年比	87.9%	114.4%	88.8%	101.6%	81.4%	103.5%	111.2%	88.8%

##### (1) 広報展開について

今年度の広報活動につきましては、ホームページや進学情報誌への広告展開に加え、高校生に最も影響力の高い SNS への広報宣伝を強化してまいりました。従来のツイッター、LINEに加え、新たにインスタグラムを導入し、今までには無いクラスターへの広報展開に取り組みました。

また次年度より開設する「国際観光ビジネス科グローバル・インバウンドコース」につきましては、語学力を生かした就職を希望する学生や、グローバル志向の学生の関心を集めるべく、Webによる広報宣伝を強化するとともに、同コースの特長や予定している授業内容を示した特別のパンフレットを製作し、営業活動や資料請求への対応に活用いたしました。

この結果、資料請求数は7,889件（前年比 105.4%）、ホームページの総ユーザ数は76,995人（前年比 106.0%）と前年からの増加が見られております。

【表12】広報・説明会等の実施状況

対象	内容	2019年度		2018年度		2017年度	
		実績	前年比	実績	前年比	実績	
広報	資料請求	7,889件	105.4%	7,483件	97.8%	7,655件	
	HP総ユーザ数	76,995人	106.0%	72,640人	75.0%	96,901人	
	(ウチ、スマートフォン)	53,727人	(105.0%)	51,178人	(76.3%)	67,096人	
説明会 (日本人・生徒)	学内開催	延人数	(745人)	(98.9%)	(753人)	(105.9%)	(711人)
		* 実人数	400人	98.0%	408人	114.3%	357人
		ウチ、出願数	153人	96.2%	159人	108.2%	147人
		出願率	38.3%	▲ 0.7%	39.0%	▲ 2.2%	41.2%
	学外	実施回数	79回	74.5%	106回	87.6%	121回
	参加者	559人	88.4%	632人	61.1%	1,034人	
留学生	学内個人面談(留学生)	166人	91.2%	182人	102.8%	177人	

※ 前年度3月～当年度2月の実績比較、\* 実人数は、該当年度受験対象者のみ

## (2) 営業活動について

今年度につきましては、資料請求者及び説明会参加者へのアプローチを目的として首都圏・関東・甲信越エリアの高校を優先的に訪問し、進路担当者との情報共有を積極的に行いました。また、全国の高校へは、学校案内や新設コース開設案内を送付し、新たな学校の魅力の発信を行いました。入学実績校に関しては、指定校推薦書を交付して更なるパイプ強化に努め、説明会への積極的な参加を依頼しました。

また、JTB 教育旅行営業個所への訪問を行い、担当エリア高校の情報共有を実施し、本校の紹介等について協力要請をいたしました。

説明会の実施状況については、【表12】のとおりで、本校における説明会参加者は400人（前年比98%）とほぼ前年並みの状況です。なお学外での説明会につきましては、大学入試制度変更による進路指導時期の変更や、高校の授業時間確保の影響もあって大幅に減少しました。

また留学生の募集につきましては、本校入学実績の高い日本語学校を優先的に訪問して、関係の維持強化に努めました。しかしながら近年は、漢字圏出身者の四年制大学志向が強くなり、日本人との合同クラスを希望する優秀な留学生在が年々減少しているため、非漢字圏出身者の中からも、より優秀な留学生確保に向けた営業活動や情報収集に努めてまいりました。

## (3) オープンキャンパス（学校説明会）について

今年度のオープンキャンパスは、観光業の楽しさを肌で感じてもらうべく、旅行端末操作やホテルのレストランサービス等、実体験を含む模擬授業を多く設定しました。

また在校生や卒業生との交流の機会を増やし、本校の生の雰囲気を感じてもらい、入学後や卒業後のイメージを実感してもらいました。人気の高いAO 特待生受験者向けや学生に帯同する保護者向けに特化したプログラムも積極的に実施し、参加者の興味に沿った案内を徹底してまいりました。

今後も、観光分野の魅力を発信し続け、グローバルに活躍できる学生の確保に努めてまいりたいと存じます。

## 5. 総務・財務関連

### (1) 収支バランスの維持と経営基盤の安定化

今年度の事業活動収支状況につきましては【表13】のとおりで、事業活動収支差額につきましては1,027千円の収入超過となり、補正予算に対しては、約7百万円の差異が出ました。また基本金につきましては、年度内における固定資産の取得と除却の相殺により約6百万円増加し、約14億85百万円となりました。

【表13】事業活動収支状況、及び基本金の推移

[単位:千円]

	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度
事業活動収入	551,865	532,387	580,561	613,768	616,850	568,471
事業活動支出	550,837	520,256	573,322	570,617	577,626	537,426
事業活動収支差額	1,027	12,131	7,239	43,151	39,224	31,045
翌年度繰越収支差額	298,784	303,593	536,022	528,783	485,632	446,408
前年良否	▲4,810	▲232,429	+7,239	+43,151	+39,224	+31,045
前年対比	98.4%	56.6%	101.4%	108.9%	108.8%	107.5%
<b>基本金</b>	<b>1,485,475</b>	<b>1,479,638</b>	<b>1,235,078</b>	<b>1,235,078</b>	<b>1,235,078</b>	<b>1,226,672</b>
前年度末良否	5,837	244,560	0	0	+8,406	+20,644
前年度末対比	100.4%	119.8%	100.0%	100.0%	100.7%	101.7%

### (2) 設備投資状況

今年度の、学習環境及び職員就業環境の改善に向けた、主な設備投資・補修工事の実施、並びに備品の購入状況は【表14】のとおりです。

【表14】2019年度 設備投資状況

実施時期	実施内容	費用
2019年07月	災害用備品入替(賞味期限切れ時入替)	1,034,208 円
	教室スピーカー、職員用プリンター	262,224 円
2019年09月	教員用PC入替(Windows10への切替) 14台	1,995,840 円
2019年10月	第1パソコン教室/プリンター入替	1,408,320 円
	第2パソコン教室/PC・サーバー入替	16,252,607 円
	第2パソコン教室/大型モニター増設	834,840 円
2019年11月	3階女子トイレ用設備交換	192,500 円
	職員用PC入替(Windows10への切替) 8台	1,008,480 円
2020年01月	3階教室モニター入替	165,000 円
	学生ホール用PC入替(Windows10への切替) 3台	552,750 円
	災害用備品入替(賞味期限切れ時入替)	948,740 円
2020年03月	教職員用事務機器	310,750 円
	教職員用パソコン 6台	709,720 円
	AED 機器入替	302,170 円
	職員室用複合機増設	869,000 円
	その他教育研究用機器備品	81,418 円
	その他管理用機器備品	43,450 円
2019年度計		26,972,017 円

### (3) 学校経営の中長期的安定化を見据えた経営課題への対応

周辺環境の変化を踏まえ、3～5年後における本学の「あるべき姿」について議論を重ね、具体策を織り込むべき次期中期経営計画の策定と実行に向けた諸準備を整えました。

- ① JTB 経営戦略本部とのプロジェクト参画による、専門職大学化も含めた事業運営方の再検討と、JTB グループにおける本校の役割についての再確認
- ② 学校運営に関する軌道修正の必要性と方向性についての検討と確認
- ③ 学校法人組織の体制整備に向け、質量含めた要員体制の強化
- ④ JTC カルチャー改革の推進
  - ・ 「働き方改革」「業務改革(BPR)」に向けた意識改革の推進と組織運営の活性化
  - ・ ミドルマネジメント層における経営参画意識の向上

## 6. その他

### (1) 要員体制について

	常勤教職員・役員					計	専門講師 (非常勤)	合計
	校長(理事)	理事	教務職員	事務職員	派遣職員			
2019年度期首	1名	2名	11名	13名	3名	30名	35名	65名
2019年度期末	1名	2名	13名	15名	1名	32名	36名	68名

※ その他、理事長1名(非常勤)、学校医1名(非常勤)、保健師1名(非常勤)

### (2) 理事会・評議員会の開催状況について

#### 【理事会】

回	開催日	議案	議案内容
第1回	2019/05/29	1.	2018年度決算に関する件
		2.	評議員の補欠選任に関する件
第2回	2019/11/27	1.	2019年度上期 学校運営概況に関する件
		2.	国際観光ビジネス科 グローバル・インバウンドコースの設置に伴う学則の一部変更に関する件
第3回	2020/03/25	1.	2019年度 学校運営概況に関する件
		2.	2019年度 予算改定に関する件
		3.	2020年度 学校運営計画及び予算案に関する件
		4.	寄附行為の一部変更に関する件
		5.	任期満了に伴う役員・評議員の改選に関する件

#### 【評議員会】

回	開催日	議案	議案内容
第1回	2019/05/29	1.	2018年度決算に関する件
		2.	理事の補欠選任に関する件
		3.	議事録署名人の選任に関する件
第2回	2020/02/19	1.	国際観光ビジネス科 グローバル・インバウンドコースの設置に伴う学則の一部変更に関する件
		2.	議事録署名人の選任に関する件
第3回	2020/03/25	1.	2019年度 学校運営概況に関する件
		2.	2019年度 予算改定に関する件
		3.	2020年度 学校運営計画及び予算案に関する件
		4.	本学における役員の報酬等の支給基準に関する件
		5.	寄附行為の一部変更に関する件
		6.	任期満了に伴う役員・評議員の改選に関する件
		7.	議事録署名人の選任に関する件

なお、2020年度につきましては、

理事会 … 5月27日(水)、11月25日(水)、2021年3月24日(水)

評議員会 … 5月27日(水)、2021年3月24日(水)

に開催を予定しております。

以上